

プロのデザイナーが燕三条製品のパッケージをリ・デザイン。人気投票で競い合う!

Re.デザインエキシビション2015

「リ・デザインエキシビション」は、デザイン導入の成功事例を生み出し、デザインへの認識とその有効性を具体的に示すことで、その導入による新たな価値づくりを促すことを目的とし、平成21年度よりスタートしました。当初は「1対1のビジネスマッチング」とし、自社におけるグラフィックデザインのモノ・コトに関する問題や課題を解決すべく、実行委員会により選出・マッチングされた県内プロデザイナーとの協業で、その成果を生みだすといった方法でした。

平成23年度から現在の公募型・公開投票のスタイルとなり、リ・デザインエキシビション2015では2つのテーマに対して28名のデザイナーが35のデザイン案を提示。地場産センター来場者の一般投票による上位人気3傑と、テーマを提示する企業自らが選出する特別賞が決定しました。これまでのマッチングで商品化や実用に至ったものもあり、リデザイン前よりも売り上げを伸ばすなど、参加された皆様のご尽力により、「新たな価値」を関わった皆様が経験できたことと思います。



リサーチコアでは、企業支援のために様々なご相談を承っています。
少しでも困ったことや知りたいことがありましたら、まずはお気軽にご相談ください。

企業紹介
に関するご相談

**新商品企画
デザイン**
に関するご相談

技術
に関するご相談

特許
に関するご相談

IT活用
に関するご相談

支援制度
に関するご相談

専門家
(技術・特許・IT・経営)
を派遣します。

TEL.0256-35-7811 FAX.0256-32-0447
www.tsjiba.or.jp

リサーチコアレポート vol. 7

Researchcore Report

リサーチコアの出来事、情報を皆様にお届け――。

TSUBAMESANJO
organic lifestyle creations

一般財団法人
燕三条地場産業振興センター



2nd Report
○ドイツ産業調査ミッション
○リ・デザイン2015

3rd Report
○ボキューズ・ドール2015

見本市などの営業活動を実施! 世界に向けて燕三条を発信!

シンガポール展開報告。流通が始まった商品も!

開設から約1年半が経過したシンガポール共同事務所は、現在、笠原駐在員を中心に、燕三条に特化した現地活動員のテオさんと連携しながら、燕三条の金属製品（包丁、爪切り、ビアカップ、ぐい呑み、銅製の鍋、スプーン、名刺入れ等）、コメ、日本酒などを高級レストランやデパート、富裕層が集まる居酒屋、日系の小売店、ローカルが営む販売店などに継続的に営業活動を行い、少量ですが流通が始まった商品も出てきました。

また、シンガポールで初開催のインテリア＆デザイン関連の見本市への出展や、日本の食品見本市への共同出展により、木製の箸など成約につながりました。

次年度は、シンガポールの富裕層を対象としたインバウンド（観光誘客誘致）に力を入れ、燕三条のファンの拡大によって東南アジアでの販路開拓につなげていきたいと考えています。



メタレックス2014

開催日時：平成26年11月19日（水）～22日（土）
会場：バンコク国際貿易展示場

出展社数：2,793社
来場者数：約76,054人
○出展企業2社
ハガセイコー（株）、（株）テーエム

タイ・バンコクにて開催される工作機械や金属加工機器を対象とするASEAN最大級の見本市です。今回で28回目を迎えました。

地場産センターからは、地域企業2社が出展し、新たなビジネスチャンスを求めて熱心な商談が行われました。展示会においてブースに来訪された方々は、タイのローカル企業だけではなく、日系企業の方も多数来場されました。

メゾン・エ・オブジェ・パリ

開催日時：平成27年1月23日（金）～27日（火）
会場：ノール・ヴィルバント見本市会場
出展社数：3,194ブース
来場者数：78,200人
共同出展：（株）青芳製作所

フランス パリで開催されたメゾン・エ・オブジェ1月展に（株）青芳製作所と共同出展しました。この「メゾン・エ・オブジェ」は、年に2回、1月と9月にパリ郊外のノール・ヴィルバント見本市会場で開催され、最新のデザインやトレンドを世界に向けて発信する見本市として有名です。1月上旬に起きたテロ事件の影響は多少ありましたが、燕三条製品に関心のある多くのバイヤーから訪れていただきました。これからも、デザイン性に優れ高品質な燕三条の地場産品の海外市場とのマッチングの機会を創出し、新たな海外販路の開拓につなげていきたいと考えています。

アンビエンテ2015

開催日時：平成27年2月13日（金）～17日（火）
会場：フランクフルト国際見本市会場
出展社数：4,811社
来場者数：約135,000人

アンビエンテは毎年2月に開催されている世界最大のBtoB消費財見本市で、テーブルウェアやキッチン用品、インテリアアクセサリー、ギフト雑貨などありとあらゆる消費財のメーカー、商社、デザイナーなどが一堂に会し、世界中から訪れるバイヤーと活発な商談が展開される見本市です。

当センターブースは「モダンなキッチン・テーブルアクセサリー」をテーマに、各種デザインコンクールでの受賞製品などから21社の製品を展示し、訪れた来場者からはたくさんの問い合わせをいただきました。

具体的な案件も数多くありましたので、今後のフォローアップの成果が期待されます。

欧州向け商品開発ワークショップ

燕三条地域企業がミュンヘンのセレクトショップ「SHUSHU」で日本の優れた商品の販売を手掛ける鈴木里美氏と商品開発に取組み、鉛筆の技術を応用した鉛筆削り「Shin」が完成しました。

書道の墨をするような動作で鉛筆を削ります。これは、書道のときに墨をすりながら気持ちを整えるのと同じく、仕事前に鉛筆及び「芯」を削って心を研ぎ澄ましてから仕事に臨んでもらうことをポイントとしています。「Shin」をアンビエンテに出品したところ、ロンドンのバイヤーから正式受注があったほか、現在、日本の高級文具メーカーなどの商談が進行しているなど、ワークショップの成果が表れています。



ドイツで中小企業振興施策を調査!

製造業を主力産業として奇跡的に経済復興を成し遂げたドイツの中小企業振興施策を参考とするため、バイエルン州の産業支援機関、産業クラスター並びに公設試験研究機関等を訪問し、当地域の産業施策への適用や地域企業との連携可能性などを調査しました。

ドイツの歴史的な背景から社長などトップの考え方方が日本と違い、中小企業が核となって革新的な発信を行い、大企業を導いているところです。

また、ドイツは一極集中ではなく点在する地方が元気である理由は、各地域の産業クラスターに最先端技術が導入されていることと、世界的に通用する隠れたチャンピオンの中小企業があり、大学、研究機関、支援機関等が同じベクトルで実用化・市場化を常に考えて、地域中小企業と一緒に応用研究に取り組んでいることが大きな特徴でした。



フランス料理コンクールに向けて、開発プロジェクトを組織。高い評価を受ける。

ボキューズ・ドール2015 燕三条プロジェクト

世界最高峰のフランス料理コンクールにおいて、日本代表が使用するカトラリー等のキッチンツールの製作を地域企業でプロジェクトを組織して取り組んできました。この度、1月末に開催された本コンクールにおいて使用された製品は、料理とともに世界の料理関係者から高い評価を受けました。



チームJapan 専用ロゴ

ボキューズ・ドール国際料理コンクール

1987年、世界で最も有名な料理人ポール・ボキューズ氏によって設立された世界最高峰のフランス料理コンクールで、2年に一度開催されます。

今年は1月27日(火)・28日(水)の2日間フランス・リヨンで開催され、24か国の代表シェフが味や盛付けのみならず、国の独自性も含めた総合評価を競い合い、日本代表の高山シェフが上位入賞しました。

経緯

日本代表シェフが使用するプロダクトデザインを手掛けるデザイナーからの依頼を受け、昨年秋に「燕三条ボキューズ・ドールプロジェクト」を組織して、その製作に取り組んできました。



製作企業

（株）玉川堂 :①盛り付け用小プレート、②ティーポット、③ソースポット

小林工業（株）:④フォーク（先端研削加工）

藤寅工業（株）:⑤ナイフ（刀身ダマスカス加工）

マルナオ（株）:⑥箸、⑦レンゲ、⑧デザートスプーン

展示会

アンビエンテ2015において展示・PRさせていただき、訪れた来場者は見た目の美しさとその繊細な出来栄えに驚かれていました。